



おさゆきっこ

北九州市立長行小学校
校長 重野 良一

学校評価保護者アンケート集計結果

学校評価アンケートの結果をまとめました。アンケート結果を基に成果と課題を分析して、今後の学校運営に生かしていきます。多くの方にご回答をいただき本当にありがとうございました。(回収率**62.1%** 昨年度79.1%)

A:たいへん思う B:だいたい思う C:あまり思わない D:ほとんど思わない

上段:昨年度

下段:今年度

評価項目	A	B	C	D
① お子様は、楽しく学校に通っていると思いますか。	26.0 33.4	63.0 57.8	7.8 8.3	3.2 0.5
② お子様は、友達と仲良くしていると思いますか。	21.9 29.7	72.4 64.6	4.2 5.7	1.5 0
③ お子様は、挨拶をしていると思いますか。	19.8 18.8	64.1 65.1	15.1 15.1	1.0 1.0
④ お子様は、正しい言葉遣いをしていると思いますか。	4.2 6.3	66.7 65.0	28.6 27.1	0.5 1.6
⑤ お子様は、早寝早起きをしていると思いますか。	24.0 29.7	46.4 64.6	24.5 5.7	5.1 0
⑥ お子様は、朝ご飯を食べていますか。	71.4 79.2	21.9 16.1	5.2 4.7	1.5 0
⑦ お子様は、宿題をしていると思いますか。	60.4 61.5	30.7 33.8	6.8 3.7	2.1 1.0
⑧ 学校は、楽しく分かりやすい授業をしていると思いますか。	19.8 26.1	69.8 65.1	7.8 8.3	2.6 0.5
⑨ 学校は、子ども理解に努め、個の尊重をしていると思いますか。	26.0 24.0	59.9 65.6	11.5 9.4	2.6 1.0
⑩ 学校の教育環境は、お子様に適していると思いますか。	21.4 22.4	64.1 70.3	13.0 4.7	1.5 2.6
⑪ 学校は、ご家庭と連携できていると思いますか。	27.6 28.1	56.3 59.4	14.6 12.0	1.5 0.5

【アンケート結果から】※AとBの合計を肯定的回答と見ます。

項目④以外の項目が、AとBを合わせて80%を超え、しかも11項目中7項目が90%以上という結果は、非常にうれしいことです。これは、保護者の皆様や地域の皆様のご支援・ご理解・見守りのおかげであると感じております。ありがとうございます。

項目①は、肯定的な回答が91.2%と昨年を上回る結果となりました。今後も学校が楽しい居場所となるような取組を継続していきます。

項目②は、友達と仲良くしているという回答が昨年度同様、94.3%と高い数字を残すことができました。しかも、「D:ほとんど思わない。」の回答者が0人というのは、とてもうれしいことです。今後も、暖かい友情を育むことができる学級・学校づくりを目指して努力していきます。

項目③は、肯定的な回答が昨年と同様、83.9%に留まっています。今後もあいさつ運動等を行い、自分から明るいあいさつができる子どもになるよう支援していきます。

項目④は、肯定的な保護者の回答が71.3%と低い値になっています。言葉づかいについては、全校で「時と場所を考えて、正しい言葉づかいで話しましょう」という指導を続けています。悪い言葉は、いじめにつながるということを強く意識して、「みそあじっこ」の取組の一つとして重点的に指導していきます。

項目⑤は、肯定的な回答が昨年度の70.4%から94.3%に向上しています。項目⑥⑦は、⑥95.3%⑦95.3%と昨年度を上回る結果となりました。

項目⑤⑥⑦については、「おさゆき生活・学習いきいき週間」に取り組んでいますが、まだまだ向上の余地はたくさんあります。子どもたちへの支援(助言)を継続していきます。家庭でも継続した声かけや支援(早寝・早起き・朝ごはん・宿題)をよろしくお願いいい

学校教育目標「自ら考え、判断し、人とともに
よりよく生きようとする 心豊かな子どもの育成」
【よく考える子ども】
【やさしい子ども】
【たくましい子ども】



たします。

項目⑧⑨⑩⑪については、⑧91.2%（昨年度89.6%）⑨89.6%（昨年度85.9%）⑩92.7%（昨年度85.5%）⑪87.5%（昨年度83.9%）と、どの項目も昨年度を上回っています。今後も、教員の児童理解や指導力向上を目指した研修を実施し、ご家庭とも連携を密にしながら、お子様がよりよい成長を遂げられるように職員一同頑張ってまいります。

【記述内容から】

○「せんだんピック」の進行時間について「予定より早く進行されたので、子どもの演技を見ることができなかつた。」など

→「せんだんピック」の進行時間の件では、大変ご迷惑をおかけしました。予報では、「せんだんピック」終盤に雨が降る確率が高かった（実際、子どもたちが帰った後すぐに、雨が降りました。）ので、全ての演技を保護者の皆様に見ていただこうと思い、進行を早めることを tetoru でお知らせしたのですが、配慮が足らなかった点は、お詫び申し上げます。1年に1度しかないお子様の晴れ姿を記憶やカメラで残せなかつたこと、本当に申し訳ございませんでした。時間の表記や進行時間の変更の周知については、来年度検討し、同じようなことが起らないうようにします。保護者の皆様も、来年度から時間に余裕をもって観覧していただければ幸いです。（早く来られた場合も立見席で観覧できます。お子様の出演するプログラムの際、他の観覧席に移動されてください。）

○「『せんだんピック』を昔のように応援合戦や赤白対抗等を行ってほしい。」など

→「せんだんピック」では、これまで通りの教師主導型で行っていた「運動会」を「対話の重視」「多様性の尊重」等を念頭に置いた「ポストコロナの学校行事」を意識して行いました。これは本校だけではなく全市の流れです。それに伴い、従来の「運動会」とは異なる形にはなりますが、ご理解いただけたらと思っています。意見をくださった方のおっしゃるとおり、「勝ち負けはあっていいのです。『勝った人は純粋に喜び、周りはそれをたたえる。』『負けた人は悔しがる。その悔しさがあるからがんばれる。』」「ゴール時には手を挙げていいのです。なお、友達と競う場は『せんだんピック』以外でも学校生活ではいくつかあり、運動という観点でいえば、普段の体育科の学習「ゲーム・ボール運動」では、相手チームと得点を競い合い、勝敗をつけています。

「せんだんピック」の種目内容については、いくつかのご意見をいただいております。今後の参考にさせていただきます。

○「『せんだんピック』での保護者観覧方法がとてもよく、見やすかった。」など

→入れ替えにご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、スムーズな入れ替えができました。来年度もよろしくお願ひいたします。

○「下校が早い日が多いので、仕事のシフトを組むのがたいへんだ」など

→教師の時間外の在校時間（いわゆる残業時間）が長すぎることが社会的な問題となっています。そこで、「教師の働き方改革」の一環として、国や市の教育委員会の指導の下、「文部科学省が示す標準授業時数」を確保した上で、臨時校時の設定を行い、なるべく17時までに先生方が、業務を終えられるようにしています。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

○「子どもの育成について向上に向いているとは思えないのに、『いきいき表』は必要ないのでは？」など

→保護者の皆様におかれましては、「いきいき表」の確認、励ましの言葉かけなど、ご協力ありがとうございます。本校においては、12月1日～12日まで1日平均19人の児童が遅刻して登校しています。（通院や家の用事なども含む）多い日で29人の児童が遅刻して登校しています。また、貸出用の体操服が無くなってしまうほど体操服忘れが多いという実情です。そこで、家庭と学校が協力して、「早寝早起き」や「忘れ物をしない」、「スマホやゲームの時間を短くする」「家の手伝いをする」といったことについて少しでも改善していこうという取組です。まだ、大きな成果は見られていないかもしれません、保護者の皆様の声かけやご協力により少しづつ改善している気がします。今後も引き続き保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。

○「いつもお世話になっています。おかげさまで、毎日楽しく通っています。私たち親も安心して登校させることができます。」

「いつもお世話になっています。子どもたちが率先して何でもできる環境を先生たちがつくってくれていることを息子を見てて感じます。楽しく学校に通う姿に安心しています。ありがとうございます。」

「お友達とのトラブルなど、小さなことでも共有してくれるので嬉しいです。先生たちの手を煩わせて申し訳ない気持ちもありますが安心して任せられます。」

→あたたかい言葉かけ、本当にありがとうございます。この言葉を励みに職員一同、子どもたちへの教育活動に更に努めてまいります。

この他にも、たくさんの励ましの言葉や努力を要してほしい点などをいただきました。全てのご意見を掲載することができませんでしたが、厳しい意見も含めて全職員で確認し、学校として改めること、職員一人一人の支援の仕方もしっかりと受け止め、今後自身の行動を見直し改めるいい機会になりました。たくさんのご意見ありがとうございました。